

豊橋文化

vol.51 隔月発行 2023.8.15

【発行所】(公財)豊橋文化振興財団(PLAT内)
【連絡先】豊橋市西小田原町123
TEL (0532) 39-5211 FAX (0532) 55-8192

2023 豊橋文化祭 文化祭開会式典を開催します。

10月、11月は豊橋文化祭月間として、いけばな展や音楽連盟コンサートなど様々な行事が行われます。豊橋市及び豊橋文化振興財団では、その幕開けとして9月23日(土)に開会式典と記念公演を行います。記念公演では、昨年度の豊橋文化奨励賞を受賞された野畑さおりさんによるコンサートを行います。ぜひ、ご来場ください。

日時 ● 令和5年9月23日(土) 14時開式

場所 ● 豊橋市民文化会館ホール

▶ オープニング演奏 / 壁谷和子社中による箏の演奏

▶ 表彰 / 豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞、地域文化振興活動功労賞、郷土文芸作品表彰

▶ 記念公演 / 野畑さおり×西川崇代デュオリサイタル〜ピアノとエレクトーンの響き〜

▶ 入場料 / 無料(要・整理券)

▶ 要整理券 / 9月1日(金)から豊橋市役所「文化のまち」づくり課、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場1階窓口にて配布します。

▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211

伝統文化こども発表会を開催します。

「伝統文化こども教室」参加者及び市内邦楽団体のこどもによる発表会を行います。こどもたちの夏休み・日頃の成果をご覧ください。秋のはじめに、伝統文化に触れる良い機会です!ぜひご来場ください。

日時 ● 令和5年9月24日(日)

12時30分〜(予定)

場所 ● 豊橋市民文化会館ホール

▶ 出演団体 / 伝統文化こども教室受講生(箏曲、三味線)、清歌会(日本舞踊)、花柳喜依の会(日本舞踊)、壁

谷和子社中(箏曲)、箏曲 加藤信子

社中、箏曲 紫雨会 他

▶ 入場料 / 無料

▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団

☎0532-39-5211



第50回豊橋市民お月見会

今年度のお月見会はコロナ前と同様に開催予定です。立礼席も午後8時まで延長営業するとともに、午後6時から午後7時からの2回にわたり琵琶の生演奏も行います。ステイホームという言葉も聞かなくなりました。ぜひ今年度は三の丸会館へご来場の上、ご応募ください。

日時 ● 令和5年9月29日(金) 17時〜20時

場所 ● 三の丸会館(豊橋公園内)

▶ 部門 / 俳句の部、短歌の部、川柳の部

▶ 投稿票 / 三の丸会館、市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で配布

▶ 投稿期間 / 9月29日[金]〜10月5日[木]

▶ 投稿方法 / 期間中、投稿箱を三の丸会館内に設置します。期間内に詠まれた作品を投稿箱にお入れいただくか、官製ハガキで郵送してください。三の丸会館現地読みでなくても可。

▶ 立礼茶席ご案内 / 立礼茶席は午後8時まで延長して営業します。抹茶一服(お菓子付き)490円

▶ 箏曲の生演奏 / 当日は「錦心流琵琶全国-水会豊橋支部」による琵琶のミニ演奏会を行います。しばし琵琶の音色に心と体をゆだねてみてはいかがですか?

【昨年特選作品ご紹介】

(俳句)また母をなじってしまい月仰ぐ

寺部幸子

(短歌)終電降り立待月は煌煌と老いの歩幅を路地裏までも

鈴木愛子

(川柳)老介護今夜も月が覗いてる

中村鈴子



秋の市民茶会を開催します。

秋の市民茶会はこの数年は新型コロナウイルスにより中止や規模縮小が続いてきましたが、今年は従来通りの規模により開催いたします。気軽な市民茶会で一服のお茶を楽しんでみませんか?

日時 ● 令和5年10月21日(土)〜22日(日)

午前10時〜午後3時

場所 ● 豊橋市民文化会館

▶ 参加流派 / 21日(土)=表千家不白流、煎茶売茶流、茶道宗備吉田流、南坊流、22日(日)=宗備流豊橋支部、表千家清和会、裏千家今和会、松尾流

▶ 入場料 / 前売1,300円(2席綴り)、当日は1席750円です。豊橋市民文化会館、豊橋市三の丸会館、各参加流社にて取り扱います。

▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211

豊橋総合いけばな展のご案内

豊橋華道連盟の9流派による合同いけばな展です。出色の作品群をどうぞお楽しみください。

日時 ● 令和5年10月21日(土)〜22日(日)

10時〜16時

場所 ● 豊橋市民文化会館2階展示室

▶ 出瓶団体 / 小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生流、嵯峨御流、華道家元池坊(順不同)

▶ 入場料 / 無料

▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



第65回豊橋邦楽大会を開催します。

日本舞踊の部

▶ 日時 / 11月5日(日)

▶ 場所 / 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT主ホール

▶ 入場料 / 2,000円

民謡・新舞踊の部

▶ 日時 / 11月18日(土)

▶ 場所 / 豊橋市民文化会館

▶ 入場料 / 1,000円

民謡・大正琴・三味線の部 箏曲・長唄・尺八・小唄の部

▶ 日時 / 11月19日(土)

▶ 場所 / 豊橋市民文化会館

▶ 入場料 / 1,000円

令和5年度 県文連東三河部芸能大会が開催されました。

令和5年7月9日(日)に蒲郡市民会館中ホールにて「令和5年度 県文連東三河部芸能大会」が開催されました。東三河から5市1町が参加し、各地の文化団体による箏曲の合奏や吹奏楽、日本舞踊などが披露されました。豊橋からは、琴城流大正琴アンサンブルハーブクィーンズが出演し、煌びやかな衣裳を纏いリズム感溢れる「情熱大陸」や「マツケンサンバII」などをノリノリに演奏し会場も盛り上げました。来年は新城市での開催となります。



VOL.10 気まぐれプチ旅

京都の美術館と食堂とカルネ 斧路朱音

五月晴れの日...前日から気温がグングン上昇し連日の真夏日となり、汗が噴き出る。会議に出席するため京都へ。時間に余裕があったので「京都国立近代美術館」で開かれていた「Re:スタートライン1963-1970/2023 現代美術の動向展シリーズ」にみる美術館とアーティストの共感関係展という長いタイトルの企画展会場に突撃。美術館が開館した1963年から8年間続いた現代アート展を回顧するもので、野心作が時代を追って展示されていた。半世紀前の作品であるのにも拘わらず、何故かとても新鮮に感じられるのは不思議だ。



「京都国立近代美術館」

さらにもっと驚いたのは、コレクション・ギャラリーで開かれていた「令和5年度第1回コレクション展」の中身...<A.西洋美術作品選>にはマックス・エルンスト、<B.生誕100年-下村良之介/星野真吾>には星野の作品14点がズラリと並び、<C.芸術とは何かを考えさせる、ふたつの問題作-赤瀬川原平「模写千円札」とマルセル・デュシャン「泉」>のほか、<D.特集:北大路魯山人><E.1963年の工芸><F.麻田浩の「現代美術の動向」後><所蔵品にみる「現代美術の動向」展>...多岐にわたるテーマで、充実したコレクションの一端を垣間見せる。



星野真吾「決議」1957年

特に豊橋ゆかりの星野真吾作品に出会うことができたのは、大きな収穫であり感慨深いものがあった。

美術館を退出して少し早目の昼食を摂ろうと、東山三条にある《天津飯》の有名店「マルシン飯店」をめざしたが、繁盛店の外には15人程が並んでいた。

時間も気になるので、道路を挟んで向かいにある昭和28年創業の食堂「はやし」に入店。壁一面に張り出された芸能人のサイン色紙が迎えてくれた。《日替わり焼き魚》《豚バラ冷しゃぶサラダ》《シーフードミックスフライ》などの定食が一律850円とリーズナブルだ。どれもが旨そうに迷ったが、ボリュームとオン・ザ・目玉焼きに惹かれ、《ビッグバーグ定食》に決めて、京都弁のおかみさんに注文...巨大なわらじハンバーグには、甘辛のタレがかかり、ご飯が進む。



「はやし」《ビッグバーグ定食》

京都なのに味噌汁も濃口だ。とにかく、「は」ようて、「や」すうて、おい「し」い老舗大衆食堂だ。

店を出て、腹ごなしを兼ねて、少し歩いてみる。京都らしい狭い路地の「古川橋商店街」を抜けて、柳並木が揺れる古川に掛かる幅の狭い「一本橋」を恐る恐る渡る...しばし旅情を愉しむことができた。

山科での会議を終えて、京都駅に戻ってきたのは、夕刻。新幹線八条口に店を構える京都人イチオシの志津屋《カルネ》を自分用と土産用に購入。小ぶりでもふわりした触感のフランクパンの中には、ハムと玉葱が入り、味付けはマーガリンのみと至ってシンプルだが、これが素朴で旨い。カルネとは、パリの地下鉄の回数券のこと。何度でも来て買って欲しいという願いが込められている。

豊橋市民文化会館の改修工事にもなう利用停止(一部)について

施設の老朽化が進む文化会館において、令和6年度から部分休業した上で改修工事が予定されています。それに伴い、令和5年11月から会議室の一部(第3〜第7会議室)の抽選会(令和6年5月からの利用として6か月前から予約受付を開始する分)は行いません。各室の利用停止期間は異なりますので、今後の部分休業のスケジュール等につきましては豊橋市役所HPをご確認いただくとともに、豊橋市民文化会館HPにおいても情報を更新してまいります。

文化会館の駐車場についてお願い

文化会館の駐車場は限られております。公共交通機関または乗り合わせ等でご来館をお願いいたします。また、近隣、商業施設等への駐車はご迷惑になりますのでやめてください。

文化団体紹介 Vol.38

豊橋ペン書芸研究会

今回は豊橋ペン書芸研究会さんにおじゃましました。

—豊橋ペン書芸研究会さんとはどのような会ですか?

51年前に原田通恵先生が始めた会です。のちにご主人の原田士朗さんが先生となり、今はその生徒たちが先生になって、いくつもの支部があります。原田士朗さんは学校の先生でもあり、詩人でもありました。豊川市歌の作詞をされているんですよ。

—ペン書芸とはどのようなものですか?

ペン書芸は、つけペン・万年筆・ボールペン・デスクペン・筆ペンなど日常使う筆記具で書きます。割り箸なんか使ったりしますよ。支部によって特徴・個性があって、絵や装飾も楽しみのひとつです。

—どのようなところで活動されていますか?

アイプラザや地区市民館で活動しています。今回のペン書道展をはじめ、アイプラザでの作品展、地区市民祭りなどに出演しています。

—みなさんとはどのようなことがきっかけでペン書芸を始められたのですか?

私は、祝儀袋を綺麗に書きたいと思って始めました(笑)。

私は、子育て中に自分の時間が欲しくて始めました。場所を取らず、コンパクトなのがいいですね。

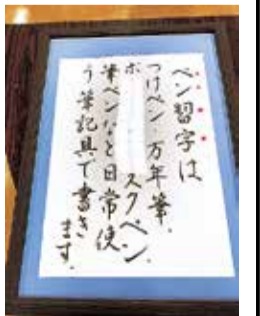
—私は字が下手なのですが、上達するものなのでしょうか?

たしかに、素質は多少関係しますが、書

き順や比率、中心など基本ができれば上手くなりますよ。まずは正しい形を真似ることですね。正しく美しい字を身につけて、デザインを加えたりします。

—ペン書芸の魅力はなんですか?

同じお手本を見て書いているのに書き上げたものは違って、誰の字かわかるんです。付加価値が付く、という感じですね。ペンは地味ですが、日常生活に密着しているところや、字とともに歴史の勉強もできるところが魅力です。新しい生徒がなかなか入らないのですが、定年退職された男性が「何か新しいことを」と始められたりしています。ボケ防止、脳の活性化にもいいですよ!



催し物スケジュール 9月～10月



豊橋文化 2023年8月発行

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

※この予定表は予告なく変更する場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

9月	第796回邦楽鑑賞会 時間●14時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体による披露
1日(金)	オリジナルミュージカル「HOKUSAI ラブソディア」……………3日(日)まで 時間●2日:18時～ 3日:13時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール 入場料●5,000円(ほか)
2日(土)	令和5年度(創流117年)日本壮心流全国剣舞大会 時間●10時～ 場所●アイプラザ豊橋大ホール 入場料●無料 内容●壮心流館員の剣舞の発表など
3日(日)	茶道クラブ月例会 ※事前予約制 時間●9時30分～ 場所●三の丸会館 会費●一般600円 会員500円 担当●表千家不白流
6日(水)	裏千家六日月会 時間●10時～ 場所●三の丸会館 会費●900円(一般参加可) 担当●内藤宗緑
9日(土)	成田萌ヴァイオリンリサイタル 時間●18時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料●一般2,000円 学生1,000円 内容●グリーグのヴァイオリンソナタ第3番をメインに置いたヴァイオリンリサイタル。
10日(日)	第29回東三河カラオケ選手権大会 時間●9時～19時 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●カラオケ大会と発表会
20日(水)	東陽ふれあい音楽会 秋風に唄う”二胡”～優しく激しく奏でます～ 時間●10時～ 場所●東陽地区市民館 入場料●400円 出演●中村ゆみこ(二胡)・水谷善郎(ピアノ)・マッスグ(パーカッション) 曲目●ムーンリバー、リンゴ追分、悠久の一乗谷
23日(土)	豊橋文化祭開会式典 時間●14時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料(要整理券)
	伝統文化子ども発表会 時間●12時30分～(予定) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料
24日(日)	Jazz Classic DUO vol.3 時間●14時30分開演(13時30分開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場創造活動室A 入場料●一般3,000円 高校生以下1,500円 内容●ピアニスト・ボーカリスト・コンボにストの石塚ままと、ソプラノの田辺菜美子がJazzとクラシック音楽をユニークにコラボします。
	本多正樹コンサート豊橋市公会堂Ⅲ 時間●17時開演(16時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●2,500円 内容●フォークソングコンサート
27日(日)	第55回表装美術展……………10月1日(日)まで 時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●愛知県内の表装業者が伝統的な表装技能の保存と向上発展を目指して製作した表装作品(掛軸、屏風、額等)を展示。
29日(金)	第50回豊橋市民お月見会 時間●17時～20時 場所●三の丸会館 部門●俳句の部、短歌の部、川柳の部
30日(土)	第490回小学生例会「9月〇日大冒険」 時間●18時30分開演(18時開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●3,300円(年少未満入場不可)
	花柳子ども舞踊教室発表会 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●舞踊教室生徒発表会。

10月	Tutti Autumn Concert 2023 時間●16時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLATアートスペース 入場料●1,500円 内容●クラシックコンサート
1日(日)	令和5年度豊橋吟剣詩舞大会 時間●10時開演(9時開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●豊橋市内の6流派250名による詩吟・剣舞・詩舞の発表。
	第24回三嶺遠南文化交流「合唱の集い」 時間●12時30分開演(12時開場) 場所●飯田市文化会館 入場料●1,000円 内容●豊橋合唱協会・浜松合唱連盟・飯田下伊那合唱連盟による合同演奏会。
3日(火)	第48回作陶展……………8日(日)まで 時間●9時～17時(初日は11時～、最終日は16時まで) 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●出品者約30名、出品点数約80点の展示会
	第20回東三河童謡唱歌のつどい 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●東三河地区11団体による童謡歌唱等。
6日(金)	第797回邦楽鑑賞会 時間●18時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体による披露
7日(土)	人形芝居ぶんどく おたのしみ人形劇場……………8日(日)まで 時間●両日とも10時30分開演(10時10分開場)/14時開演(13時40分開場) 場所●豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料●おとな1,500円 こども1,000円(3歳～) 内容●貧乏神と福の神などの上演。
8日(日)	TOYOHASHIフォークジャンボリー 2023 時間●11時30分開演(11時開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●1,000円 内容●豊橋、東三河を中心に演奏活動を続けるシニア世代のアマチュアフォークグループ10数組によるフォークソングコンサート。

8日(日)	第7回箏曲紫雨会「演遊会」 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●豊橋市三の丸会館 入場料●無料 内容●住吉社中による1年間のお稽古の成果を披露する会。
9日(月)	San-En響遊コンサート 時間●14時開演(13時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●一般2,500円 高校生以下1,000円 内容●東三河地区と浜松地区(三遠)の音楽家6名によるコンサート
11日(水)	東陽ふれあい音楽会 映画音楽で世界旅行Ⅳ ～3つの音の万華鏡～ 時間●10時～ 場所●東陽地区市民館 入場料●400円 出演●松橋貴(ギター)・なんしい(二胡)・宗行晶子(ピアノ) 曲目●リベルタンゴ、シルクロード、タイタニック
	日曜短歌会 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
	エキサイティング・シニア・カーニバル in TOYOHASHI 2023 時間●12時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール 入場料●2,000円 内容●アマチュアのおやじバンドによるコンサート。
15日(日)	薩摩琵琶演奏会「秋の夜長の琵琶ものがたり」 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●日本古来より伝わる伝説やおとぎばなしを琵琶にのせて語ります。
	豊橋技術科学大学吹奏楽団 第39回定期演奏会 時間●14時～ 場所●ライフポートとよはしコンサートホール 入場料●無料 内容●「マドックからの最後の手紙」を含む演奏会。
	箏の調べ 箏、三弦、尺八によるおざらい会 時間●13時30分～17時 場所●三の丸会館 入場料●無料
	第49回歌謡アカデミー 21発表会 時間●8時30分～ 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●歌唱発表会
18日(水)	水曜短歌会 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
	秋の市民茶会……………22日(日)まで 時間●10時～15時 場所●豊橋市民文化会館 茶券●1,300円(2席綴り)
21日(土)	豊橋総合いけばな展[秋]……………22日(日)まで 時間●10時～16時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●市内9流派による合同花展
	サボテン展……………22日(日)まで 時間●9時～16時 場所●豊橋市民文化会館第3会議室 入場料●無料 内容●サボテン、多肉植物の展示会及び品評会。
	ポピュラーミュージックコンサート 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●鳥倉千代子ソング、ベンチャーズソング、さだまさしソング、ビートルズソングなどの演奏
29日(日)	第54回合唱祭 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●ライフポートとよはしコンサートホール 入場料●500円 内容●3地区の合唱団による合同合唱。
	第24回豊橋歌謡コンクール 時間●9時30分開演(9時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●歌謡コンクール
31日(火)	第52回俳画展……………11月5日(日)まで 時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料

伊藤はつゑ

来年令和6年で金婚式を迎えます。しかし、主人はあと2ヶ月で真珠婚という日に突然逝ってしまったので私ひとりでお祝いと思っています。

思えば姉の代わりに豊橋に来、それがお見合とも知らずあれよあれよと話が進み結婚が決まりました。それでよいのかと言われれば勿論ありますが、案外楽な家だったので、決まった以上「其白髪まで」と思っていました。

家事など母や姉任せでしたので大変でした。夕食作りは料理本と首引きで2時間もかかりました。あー、母が居てくれたらとつくづく思いました。買い物は、徒歩で30分以上かかるので自転車に乗る練習をし、それもミニです。ですから時間がかかりました。実家の名古屋が恋しくどうして豊橋に嫁いでしまったのか自問自答の毎日でした。周囲の畑や田圃に馴染めずコンクリートのビル街が懐かしく名古屋の友に手紙や電話をしていました。そんな中で男の子を3人授かり、男の子を育てる楽しみも生まれました。バタバタと過ごす50歳を迎え、少しずつ私の中で変化も起き自分を出せる様になりました。家を新築するということになり1年近くかか出来上がったという時点で主人が逝ってしまいもうどうしてよいかわからなくなりました。家の中も片付いてはいず、息子たちに相談しても「お母さんの好きにしていよ。」の答えしか返ってきません。腹を括りこ豊橋で頑張ろうと足を豊橋の地に付けました。

パートにも出、演技をして明るく努めました。そうしていると素の私が演技の私と入れ替わり明るく元気になってきました。本来の私が出てきたのかもしれませんが。忙しい中、主人には申し訳ないのですが、楽しく毎日が暮らせる様になりました。名古屋とも名古屋の友とも距離が出てきました。わがままな私を豊橋や豊橋の人たちは優しく受け入れてくれました。

ここ豊橋で生きるんだ、頑張るんだ「豊橋」宜しくね。

豊橋をテーマにエッセイを募集しています。
あなたやあなたの身近にあった「豊橋」が出てくる物語をぜひご投稿ください。

文化短信

▼豊橋市民俳句会 第662回句会
遠雷や母の享年越えんとと 富田灯出子
遠州を雲かけ抜けるはたた神 大河美智子
ひっそりと鬼灯の花城下町 後藤英子
雷光や指折り耳を歌てる 後藤英子
雷に追われ必死の下山道 後藤英子
水害の町に発光はたた神 杉浦雅光
豊川も危険水位に台風風 彦坂艶子
軒下に腰をおろせば蛇の声 林春美
遠雷となり湯槽に四肢伸ばす 島居節子
遠雷となり湯槽に四肢伸ばす 河合澄子

▼豊橋市民俳句会 第663回句会
実習の権を繰る夏の海 彦坂艶子
滝壺に緑と青の光あり 後藤英子
七滝のひと滝涸れて落ちたけり 林春美
滝の名は小町の滝よ頼洗ふ 杉浦雅光
力充つ不動の滝に仁王立ち 高橋良子
ギター背に矛の輪をくぐる女かな 坂部靖子
鮎飯の団扇の風の甘きと 大河美智子
団扇など配られ村の野外劇 西郷賢谷

▼六月水曜歌会
身の内におキトシンが温かい 旗降る男の小さな和音
緑り言を続ける友に生ぬるい 相植たけの聞き役終へる
似て来しは指の形や手の長さ母 原田敬子
けりも買っパンの小さくならぬ 室澄子
いつも買っパンの小さくならぬ 竹中寿美恵
蛇行する川の流れば清きまま 連跡跡の母校なかし 原田敬子

▼七月水曜歌会
五月晴れベレイキアの色は青 色にいつもの道を夫また行く 伊藤はつゑ
思ひ立ち水色エプロンを入形の 服になさむと鉄を入れる 河合美智子
わがサンバー二三四XYZ小 心者ほど監視したがる 西郷賢谷
どの扉もほんの少しの間を開け て小さき家の風を繋げる 室澄子
日中に学生の声こだまする高 校のそばに我は越したる 竹中寿美恵
甘諸の葉交互に折りて聴器を 作つくれた小さい姉ちゃん 藤井正子
化粧して新しい服を着て鏡見る あなたもきつと初夏の中 長谷川公代
東京の雑踏の中に佇みて若者の あと歩調合わせる 天野富士子
空近き岩場に栖みて雪豹はふ るるるるるるるるるるるるる 夏目伊代子
すがすがしジャカラタの花咲き みて濃きむらさきに空を渡る 洲淵智子
袋から溢れるパンのバター1の香 ランチタイムにあと一時間 内藤よし胡
木陰に椅子とそよ風ミソシッ クハンモックにも時は揺れり 岩瀬美子
蛇行する川の流れば清きまま 連跡跡の母校なかし 原田敬子

豊橋市表彰

豊橋市は、今年度の市勢功労者および教育、体育、文化表彰の受賞者をそれぞれ発表しました。(文化振興の部)に藤原俊男さん、文化表彰では3名1団体が選ばれ、8月1日開催の市制施行記念式典で表彰されました。【市勢功労賞】市勢に功労のあった方または市民福祉の増進に貢献された方を表彰する市勢功労者(文化振興の部)に次の方が選ばれました。

■藤原俊男さん
【文化振興賞】豊橋市の文化振興に貢献された次の3名1団体が選ばれました。
■新村猛さん、杉浦充さん、田辺菜美子さん、特定非営利活動法人 三河三座

▼豊橋市表彰
按摩機に五体を委ね梅雨籠 篠田和代
鷹にパン取られて泣く子夏海 富田灯出子
願想にふける人あり滝の前 河合澄子
にじり寄る強きにカブト 脱ぎました 田口勝義
じわじわとやる気にせざる言ことば 鈴木かつね
じわじわと暑い夏の夜離れて 山口タカシ
じわじわと四方八方 佐藤文児
じめじめの空気が体まじつくと 池谷英子
あつちつち体じわじわがたがた 尾方聡子
じわじわと忍びぎてるか認知症 小松くみ子
クレームがボディプロトタイプ 波多野律子
免疫をじわじわ増やす散歩道 彦坂艶子
悔しさが今頃になり沸いてくる 戸沢はたる
預貯金をじわじわ食べる物価高 来本芳子
淋しさが近寄ってくるじわじわと 佐藤英子
じわじわでいいのに老いは足早に 青嶋由紀美
嬉しさがじわじわ満ちるハガキ 寺部水川
じわじわとたくし色にお染めする 鈴木順子

▼豊橋文化短歌会 六月日曜歌会
転がりに転がされての連続に四 角が丸にときに三角 伊藤はつゑ
黄砂来て幼の服を部屋干しに お天道様も涙目のよう 西郷賢谷
真中より一つ左の一切れに先ず 箸伸ばすとんかつ定食 小池保利
柏餅のレシビを繰れば弟の無邪 気な声の蘇り来る 内藤よし胡
沈丁花香りたゆたう水の辺に 私は私に知らんぷりする 宇佐美幸枝
風ある日かざかんむりを思はせ て竿にはためく五月のバジリ 池田あつ子
旅籠屋の千本格子の家並にか きは咲きて深き紫 岩瀬美子
愛しきも辛き別れもSNSで 令和の若者 狐悲し知らずや嗚呼 わが指の先をつつきし橋のしる き一輪夢を乱せり 丹羽智子
疫病に向かいて我は臥所にて命 と愛を知る時となり 山口繁

▼七月日曜歌会
なす胡瓜ピーマン植えて夏を待 つ水分補給の音が聞こえる
この街が否応無しに入れるよう 線状降水帯と不水の檻 池田あつ子
このひらと素足に波に掛けたり エイジフリーの八月の朝 宇佐美幸枝
古書店にて夏井いつきの季節書 買ひつぷりしにせむ明日は父の日 小池康利
店内の焼ききたパンの甘き香り に入り来し子供の涙は止まる 内藤よし胡
いつからか声が囁みつきもへ た奥歯の疼くそれよりもう 丹羽智子
除草の役まかせられり山羊たち 草を無心に食みり山の傾り 岡田米子
青葉濃き木立の陰に何想ふ学 徒の墓にも薫風自南来 岡田宏子
ささきゆりの露ふくむ園のほり 行き遙か眼下に遠州灘見ゆ 真道富久代